

大阪府北部地震を教訓とした防災力強化の検討について《報告書》に関する趣意書

平素は、本市防災行政の推進に格別のご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

本市では、平成 30 年の大阪北部地震を教訓とした防災力強化を図るにあたり、各所属単位で具体的な課題を抽出・整理し、各課題について対応方針及び対応スケジュールを平成 30 年 12 月の第 2 回 大阪市防災・危機管理対策会議にて報告書として取りまとめました。

また、令和元年度には、整理した対応方針及び対応スケジュールに基づいて各課題の進捗管理を行い、集約したものを大阪市防災・危機管理対策会議にて報告する予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の拡大を鑑み、同会議を中止したため、会議での報告を行うことができませんでした。

これらの経過を踏まえ、今回の大阪市防災・危機管理対策会議の書面開催にて、とりまとめた各課題について、対応状況も含めて整理し、報告させていただきます。

なお、報告書で予定した検討事項は、現時点では全て対応済みとなっております。

主要な検討課題は以下の通りです。（詳細については報告書をご確認ください。）

【主要な検討課題】

1. 初動体制
2. 業務継続計画（BCP）
3. 住民支援・避難所対応
4. 災害広報
5. 庁内の情報共有
6. その他、主要な個別課題

※本報告書では、平成 31 年 5 月以降の表記は令和表記に時点修正しております。

また、本報告書は庁内会議のオープン化の手引きに基づき、本市ホームページにて公表されます。